

1. 現状と課題

大野市国保における過去の医療機関への受診率と疾病別の医療費を平均すると、いずれも虚血性心疾患や脳血管疾患等の「循環器系の疾患」が最も高くなっております。この疾患は40歳代から急増していることから、「循環器系の疾患」を予防することが、被保険者の健康の保持増進と医療費の抑制には最も効果があると考えられています。

「循環器系の疾患」を予防するには、疾病の早期発見と適切な生活習慣に向けて行動変容を促すことが重要で、そのためにはまず特定健診と特定保健指導の実施の向上が必要です。そして特定健診の結果から重症化する前に対象者の抽出と、適切な保健指導を行うことが課題となっています。

しかし、当市の令和元年度特定健康診査法定報告の受診率は44.1%であり、第二期特定健康診査等実施計画において設定した受診率目標である60%とは大きく乖離しています。

令和3年度は、専門知識を有する委託業者と連携をとりながら、更なる特定健康診査の受診率向上を目指し、糖尿病性腎症重症化予防事業を実施して行く予定です。

2. 実施内容

特定健診未受診者対策

目標：性別・年齢別に分類した対象者へ効果的と思われる受診勧奨を行うことで特定健診受診率向上を目指します。

(1) 対象者

大野市国民健康保険加入の40歳から74歳までの被保険者で、平成27年度から令和2年度の健診受診歴より、一度も特定健診を受診していない健診未経験者。また、新規の国民健康保険加入者。

(2) 実施内容

性別・年齢別に大野市の疾病を分析し、各年代別の男女に応じた内容の受診勧奨を実施します。

(3) 実施時期

- ・通知による受診勧奨

6月から翌年3月の間に、1～2回受診勧奨を実施予定です。

- ・新規国民健康保険加入者への勧奨

簡易の受診券と勧奨チラシを随時送付し、健診の案内漏れを防ぎます。

特定健診継続受診者対策

目標：過去の健診受診歴を分析し、対象者の健康意識を高め本年度だけではなく次年度以降も継続して健診を受診するよう促すような受診勧奨を行います。

(1) 対象者

大野市国保加入の40歳から74歳までの被保険者で、過去5年間の間に特定健診を受診したことがある者。

(2) 実施内容

過去の健診受診歴（健診結果、問診等）を分析し、一人ひとりの健診結果に応じたアドバイスを送付します。

(3) 実施時期

- ・通知による受診勧奨および健康状態についてのアドバイス
6月から翌年3月の間に、1回送付予定。

糖尿病性腎症重症化予防

目標：糖尿病が重症化するリスクの高い、医療機関の未受診者について適切な受診勧奨・保険指導を行い治療に結び付けるとともに、糖尿病性腎症等で通院する患者のうち、重症化するリスクの高い者に対して、将来的な腎不全、人工透析への移行を防止します。

(1) 対象者

大野市国民健康保険加入の40歳から74歳までの特定健診受診者で、大野市糖尿病重症化予防プログラムにおける基準に該当し医療機関を受診していない者。

(2) 実施内容

過去の健診受診歴とレセプトの突合により、上記対象者を抽出し医療機関への受診勧奨通知を送付します。受診勧奨資材は、過去の健診結果から個人に応じたアドバイスを記載したものを使用。その後、医療機関への受診状況を追跡し、必要に応じ保健指導を実施します。

(3) 実施時期

- ・受診勧奨（通知送付）
翌年3月までに、1～2回（再勧奨を含め）送付予定

その他

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し、それぞれの受診勧奨時期については状況に応じ委託業者と協議のうえ決定します。